

木曽川対策は地域防災のカナメ

尾張大橋 架け替え 急務

国土交通省中部地方整備局（名古屋市中区）に尾張大橋の架け替え促進など木曽川防災強化を申し入れる日
本共産党のみなさん 11月10日



もとむら伸子 衆院議員 すやま初美 さん 同席

なす英二弥富市議、いたくら克典さん、もとむら伸子衆院議員（比例東海）らは1月10日、国土交通省中部地方整備局を訪れ、尾張大橋の早期架け替えなど防災・減災対策の抜本的強化を申し入れました。

巨大地震、気候変動、災害激甚化

南海トラフ巨大地震、気候変動のもとでの災害激甚化……。災害対策強化は、海拔ゼロメートル地帯の最大課題です。日本共産党は、国会議員・市町村議員が連携し、住民のみなさんの生命・財産を守るため、全力をあげています。応援してください。

- 国への要望事項
- 1、尾張大橋の架け替えを促進し、堤防を前後と同じ高さ7・5mで完成させること
 - 2、木曽川をはじめ河川堤防のかさ上げなど水害防止対策を強化すること
 - 3、自治体による地域住民の避難施設・態勢の整備・拡充を支援すること

国交省中部地方整備局に申し入れ

なす 英二 市議会議員
いたくら 克典 市副委員長

弥富市民の生命・財産まもる



市議会本会議で質問に立つ三宮議員（中央）
＝テレビ中継画面より

三宮議員

市議会です。日本共産党の三宮十五郎市議は昨年の12月議会で「地域防災のカナメは木曽川対策強化」として、尾張大橋の早期架け替えを訴えました。

尾張大橋 築後90年

国道1号線の木曽川にかかる尾張大橋は戦前の1930（昭和3年）完成。国の架け替え計画がおくれ、木曽川堤防高7・5mにたいし橋けた高は5mで、2・5m低い状態になっています。

木曽川堤防より
2.5m低い
尾張大橋



弥富市内の木曽川堤防と尾張大橋。堤防高より尾張大橋の橋けたが低く、災害対策のネックになっている

民報やとみ

2020年1月号外 日本共産党の活動を紹介します。《発行》
日本共産党弥富市委員会 電話0567(67)2252

日本共産党の発行する「しんぶん赤旗」（日刊・日曜版）の購読申し込み、
入党相談は、日本共産党尾張南地区委員会へ 電話0587(23)7751

日本共産党

Japanese Communist Party